

森の川自然散歩

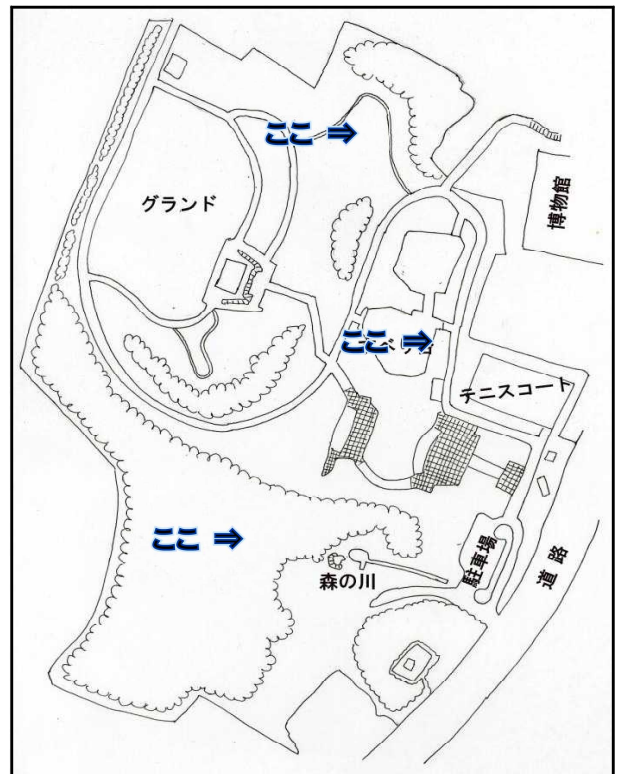
2018年10月号

暑くてワジワジしてたら、ジーワジーワが聞こえてきたよ！

上：コバテイシ（モモタマナ）の木にとまるクロイワツクツクのオス。
ジーワ、ジーワの声が聞こえてきたら、季節は秋です。

クロイワツクツク（メモ）▶▶▶

- 全長は約40～47mmで、リュウキュウアブラゼミより少し小さいセミです。透明な翅でリュウキュウアブラゼミとはすぐ区別できます。また体の色が、リュウキュウアブラゼミは黒から赤褐色に見えるのに対し、クロイワツクツクは緑っぽい色に見えます。
- 森川公園では、ウガンヌカタの後ろの森や、上の広場から下の遊歩道に下りるモクマオウの並木周辺でよく鳴いています。
- 沖縄島の方言では「ジーワ」が一般的ですが、宜野湾市では「グーワー」と呼ばれているようです。それでも大山や宇地泊では「ウーワー、ウーワー」、真志喜や大謝名では「ンーナ」、我如古では「クーワー」と、いろいろな呼び方があります。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。



(20) 君はどこから来た？

～シロツメクサ～

ヨーロッパ原産の多年生草本です。高さは15～20cm、茎から三葉の葉が互い違いに出ています。葉には白色の斑があります。花は白色で、ツメのような形をしているところから名付けられています。森川公園では上の広場にたくさん生えています。

明治の頃に、畑の緑肥として日本に持ち込まれたようです。緑肥は、畑を休ませているときに種を蒔き、ある程度育ったところで、生きたまま土の中にすき込んで肥料にするもので、同じような目的で植えられているものにレンゲなどがあります。その後、畑から逃げたシロツメクサが全国各地に広がっていったようです。

左:ガジュマルの根元に空いた謎の穴。

森川公園10月の花ごよみ

夜に ～ サガリバナ ～

- 森の川の泉の入口に、三本だけ生えています。花が咲いていないと目立たないし、花そのものが夜に咲くので、気がつかない人も多いかも。
- 奄美大島以南の島では普通に見られます。湿地や川沿いによく生えることから、一昔前には、田んぼの畦の補強や境界としても植えられていました。最近では、公園などにも植えられています。
- 高さは3～10mで、葉の長さは10～40cmになります。6月から7月に、長く垂れ下がった房状の花を咲かせます。
- 花が咲いていると、とてもいい香りが漂っているのですぐ分かります。サワフジとかキーフジと呼ばれることもあります。 **右:沖縄市美里で咲いたサガリバナ。**



博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

